

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 110-0016
 住 所 東京都台東区台東1-2-16
 氏 名 株式会社ライフコーポレーション
 代表取締役社長執行役員 岩崎 高治 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ライフコーポレーション		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 神奈川県川崎市川崎区大島4-3-1 (ライフ川崎大島店)		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	食料品等販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	5,947	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

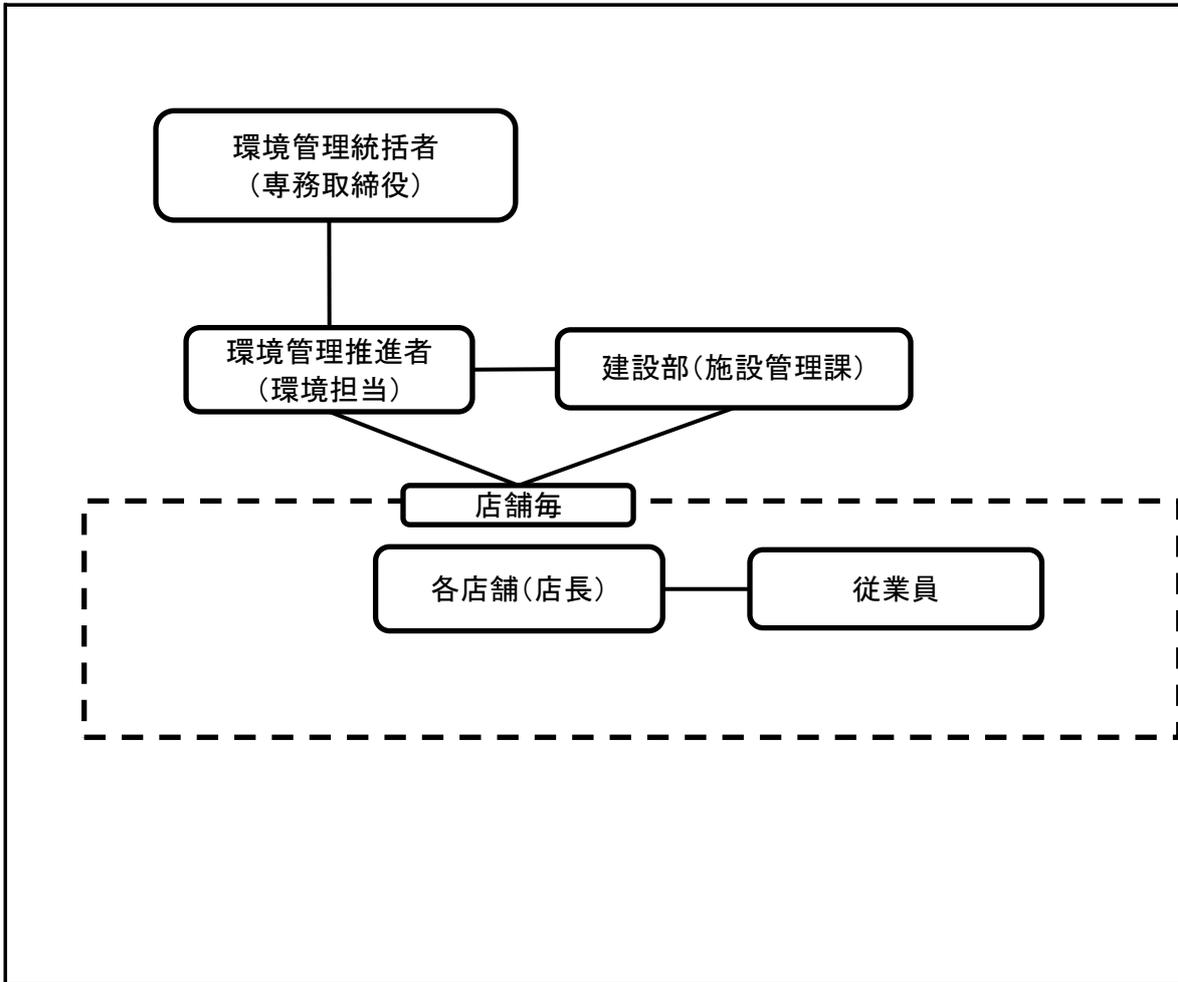
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- 1、事業者全体基本方針
次の方針により、積極的な地球温暖化対策を進めていく。
(1) 社内「環境憲章」に則り、取り組みを組織的に行い、継続的に対策を推進する。
(2) 目標を明確に定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。
(3) 温室効果ガス排出量の削減に寄与する機器を今後の店舗開発の際に検討する。
- 2、市内事業所の基本方針
(1) 川崎市以外の地域同様、各営業所の特性を考慮しながら無駄なエネルギーを削減する。
(2) 地域社会に貢献し、サービスレベルを維持しながらエネルギーの合理化を達成する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

- 次の方針により、進捗管理を実施する。
(1) 省エネおよび排出量削減の目標を設定し、目標達成に向けた年間計画を策定する。
(2) 年間計画に沿った対策を実施する。
(3) 対策による効果を確認・評価し、次年度以降の計画・管理・運営に活かす。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2021 年度	
目標	年度	2024 年度	
基準	排出量	(実) 11,323 (調) 9,717 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
目標	排出量	(実) 10,983 (調) 9,425 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
削減量		(実) 340 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実) t-CO ₂	(実) t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 340 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削減率		(実) 3.0 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		延床面積*営業時間	
原単位の単位		t-CO ₂ /千m ² *千H	
基準年度の値		35.09	
目標年度の値		34.03	
削減率		3.0 %	

ウ 目標設定に関する説明

スーパーマーケットは閉店時であっても冷蔵・冷凍ケースは稼動しているため、不必要な照明や区画の消灯や機器の省エネモード設定などにより温室効果ガスの排出量の削減を図る。毎年、継続して削減をするため年1.0%の削減とした。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	<p>○空調設備 室内条件を把握し、こまめに温度調整をおこなう。状況に応じて空調の停止、稼働台数・稼働時間の調整に努める。設備更新時には省エネタイプの設備を採用する。</p> <p>○冷凍・冷蔵ケース 日々の温度確認を実施し、過度な低温設定の是正を図る。商品の積み過ぎ・詰め込み過ぎによる効率低減を防ぐ。設備更新時には省エネタイプの設備を採用する。</p>
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<p>LED照明の導入 太陽光発電設備の導入</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	○	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	無し
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	3Rの推進による資源の有効活用。 ・マイバッグ持参推進活動 ・エコトレーの利用 ・容器包装リサイクル ・食品廃棄物リサイクル ・プラスチックトレイ回収BOXの設置 等
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	11,323	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

5,947	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

15

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
宮内二丁目店	神奈川県川崎市中原区宮内2-1-1	1,133 t-CO ₂
川崎大島店	神奈川県川崎市川崎区大島4-3-1	1,118 t-CO ₂
溝口店	神奈川県川崎市高津区溝口5-24-8	1,052 t-CO ₂
子母口店	神奈川県川崎市高津区子母口字旭田284	985 t-CO ₂